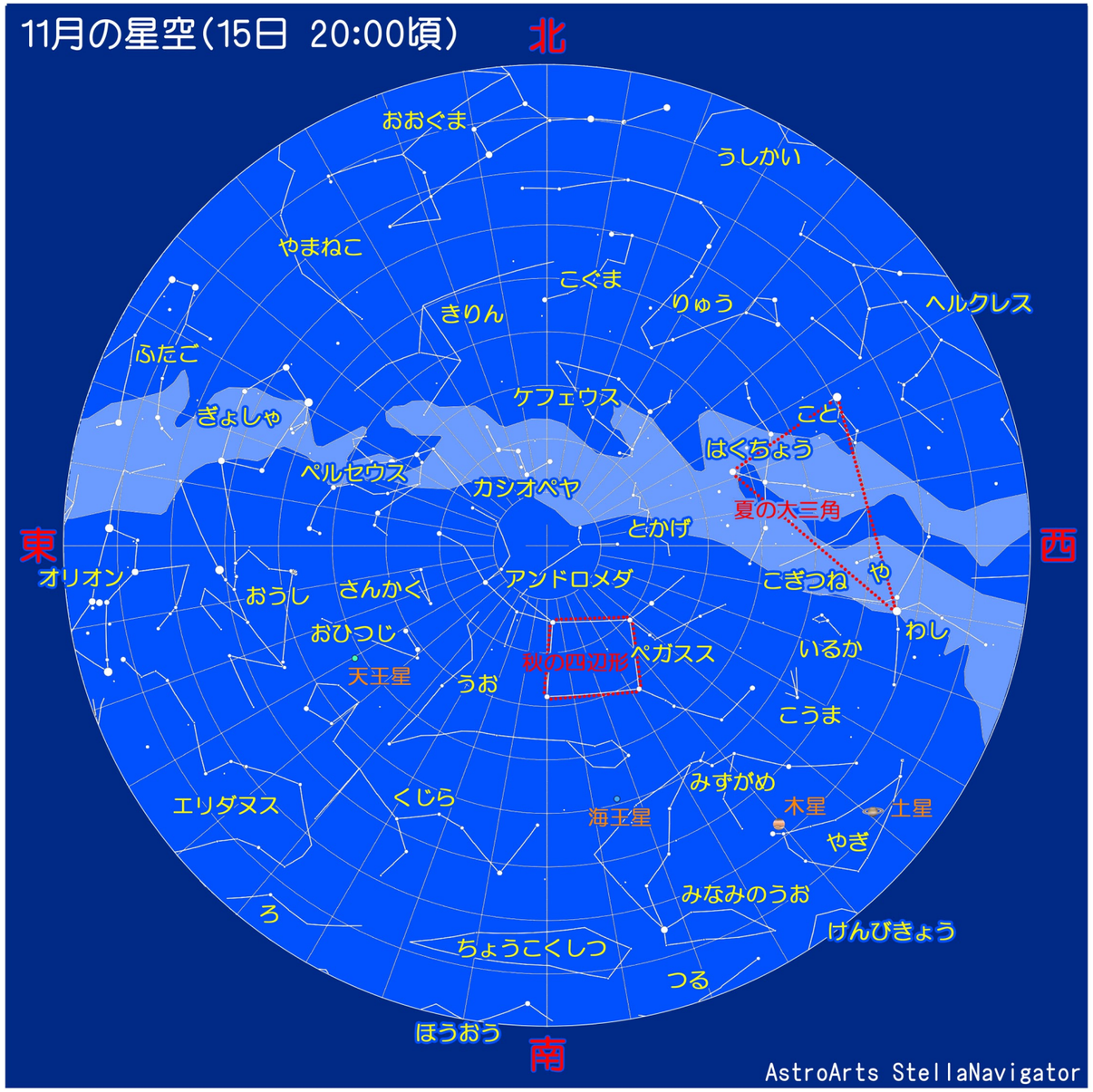
銀河の森天文台
2021年11月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆部分月食（11月19日）

11月19日の夕方から宵にかけて、部分月食が起こります。今回の部分月食は最大食分0.97と、ほぼ皆既月食といって良いくらい、大きく欠ける部分月食です。陸別では月の出後すぐに月食がはじまります。

- 食の始まり　16時19分
- 食の最大　18時03分
- 食の終わり　19時47分

食分0.97の月
（今回は右下が明るく残ります）

月

		出	没
5日	● 新月	06:04	16:30
11日	◐ 上弦	12:41	22:18
19日	○ 満月	15:50	05:59
27日	◑ 下弦	22:41	12:24

天文台から月を見ることができるのは7～21日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。アイヌ語ではこの星団を「トランネ・ノチウ（怠け星）」と呼びます。

距離：約410光年

M31（銀河）

有名なアンドロメダ銀河で、肉眼でも見ることができます。りくり望遠鏡では視野からはみ出してしまうほど大きく、全体を見るのであれば、双眼鏡を使うのが良いでしょう。

距離：約230万光年

NGC7662（惑星状星雲）

アンドロメダ座に位置する惑星状星雲で、青い雪玉（Blue Snowball Nebula）という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色が印象的です。

距離：約2000～6000光年

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ちょっとマニア

・NGC246（惑星状星雲）

くじら座に位置する惑星状星雲です。比較的わかりやすい輪郭と、その内側がムラになっている様子を観察することができるでしょう。

距離：約1600光年

その他おすすめ

- M2（球状星団）
- M27（惑星状星雲）
- M52（散開星団）
- M76（惑星状星雲）
- NGC1514（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- アキルド（重星）
- メサルティム（重星）

11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日